

3期「みよし会」5月例会を開催しました

今回は「みよし会」会員で、戸畑区の「ころころ保育園」の園長を務めている宮尾節子さんが講師となって、ころころ保育園の施設見学を兼ねて、宮尾さんから現在の北九州市や全国の保育行政の現状や現場の状況を話してもらいました。



「ころころ保育園の見学会&保育現場の現状」

<日時> 2016年 5月21日(土) 午後2時~4時

<場所> 「ころころ保育園」 (戸畑区中原西1丁目13-26)

<参加者> 今井由子、池田慶子、坂本博子、貞光文江、樺沢敬視、赤木博、
宮尾節子、小松良子、柏木礼子、高城泰男、永吉和幸(順不同、敬称略)

<内容> 宮尾節子さんが園長として運営にかかわっている「ころころ保育園」を見学して、宮尾さんが現在の「保育」の現状を紹介しました。

例会のサブテーマは

「シニア世代の私たちができる子育て支援とは？ 子育ての応援団になろう！」

「現在の保育の現状」では、①保育士は子どもだけでなく子どもの母親の支援もしなければならない②モンスターペアレンツが増えた③子どもの運動能力が低下している④核家族化で子どもの育て方を知らない母親が増えた……など。

また「発達障害」についても、症状の解説や対処の仕方などを学んだあと、少子高齢化のこれからは「私たちシニア世代が若い母親たちの子育てを支援していくべきだ」→「子育ての応援団になろう！」ということ学びました。

